

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



かいと こは
鈴木 海翔・心春ちゃん

翔太郎・春佳さんの長男・長女（下妻丁）

3歳になってますますパワーアップした海翔くん。お兄ちゃんのパワーに圧倒されている心春ちゃん。「ここちゃ〜ん」とべったりなお兄ちゃんに、ニコニコ笑いかけてる2人が大好きだよ！毎日笑顔がありがとう。これからもスクスク大きくな〜れ！



いちや
小林 一哉ちゃん

奈央道・裕子さんの長男（古沢）

やんちゃでひょうきん者の男の子。パパとヘン顔でにらめっこしたり、かくれんぼをするのが大好き。最近ではテレビの相撲中継を見て、「はっけしよい、のこった！」とお相撲のまねっこをするようになりました。こんなかわいいいちびっこ力士には誰もかなわないよ。



まさや
小野澤 雅哉ちゃん

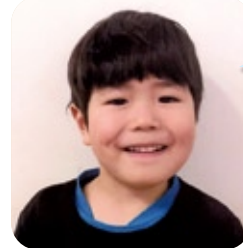
一義・英子さんの二男（下妻丙）

雅哉は4人兄弟の末っ子。気が強くておこりんぼう。姉や兄と一丁前にケンカもするけど、いつも手加減をしてもらっている我が家の“おチビちゃん”。「あんみーしゃーい（おやすみなさい）」「だっどってー（抱っこしてー）」この赤ちゃん言葉をいつまでも聞いていたいなー。



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



あわの じょうじ
4歳1か月
(大宝保育園)

いぬさん
いぬさん
まだ
かえらないのかな
もう
よるなのね
はやくかえれば
いいのね

【解説】
夕方五時、放送の音楽に合わせるように、犬の遠吠えが聞こえてきます。犬の嫌いな息子は、犬が今にも来そうで、楽しく庭で遊んでいてもすぐに部屋に入ってしまうそうです。その時に残念そうに言った言葉です。
採集 母 栗野 麻里

大和保育園

ぼくとわたしの「こいのぼり」



▲年長児の皆さん



真鯉はお父さん、緋鯉はお母さんをイメージして、色づかいを迷いながらも丁寧に染めて、色鮮やかな「こいのぼり」をつくりました。折り紙でつくった風車は、5月のさわやかな風によって元気にまわります。

みんなの ギャラリー

From SHIMOTSUMA

わたしから あなたへ

さわやか
リレー
vol.100

前回登場の土屋文明さんからの紹介



ひてき
山野 英輝さん(長塚)

自然を感じる仕事

朝、暗いうちから新聞配達が始まります。天気の良い日は満点の星空、運がよければ流れ星も見る事が出来ます。イタチが道路を横切ることもあります。もちろん天気の良い日はかりではありません。雨の日や風の日、霧で前が見えない日も配達します。新聞配達の仕事は積雪と路面凍結です。覚えてますか？2月に二回も大雪が降った事を。道路と畑の境

が判らなくなるほどの大雪と吹雪で、バイクでの配達はかなり大変でした。途中で徒歩での配達が多かったです。時間もかかりました。それでも「苦勞様」大変だったね」とお客様から温かい言葉をかけて頂き、体は冷えきっていましたが、心は温まりました。毎日、新聞を心待ちにしてくれているお客様と、配達してくれるスタッフに感謝です。

俳句

市民文芸

病床に雨の音聴く西行忌 加藤 保(加養)
バラ園の薔薇に名無しのなかりけり 木村まり子(加養)
盃に一片浮かべ花筵 程山 静子(大園木)

短歌

何気なき人の言葉も心して 飯村八重子(半谷)
胸にとどめむと思ふ我が日々 稲葉 節子(加養)
あれこれと走馬灯のごと過ぎ去りて 伊東 豊乃(加養)
女の孫春に一人立する 神郡 亜佐(高道祖)
高齡化するむ世間の真中に 木村 りん(下妻乙)
元氣に可愛く生きてゆきたし 須藤恵美子(前河原)
難まつり地図を片手に土蔵の町 鈴木 澄江(宗道)
見知らぬ路地に友と迷へり 田宮 道子(本宗道)
雨の夜は幼きころの天神講 松田 昭(皆葉)
思ひ出されて五目飯炊く
削られし畦のなだりに仏の座
赤むらさきのいろあふれさす
会う度に「頑張ってね」と笑む媪
思い出せずにはたそがれの街
花咲きて花散りて又花は咲く
なれど夫娘の戻る日はなし
今日生きる世の中哀れ我老える
日々のニュースは明るさ見えず

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄